

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 429

事務事業名	市道維持管理事業
-------	----------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	都市整備部		
課名	道路課		
課長名	森 幸則	内線	427
担当者名	古賀 雅樹	内線	428

基本目標		機能的で環境と調和したまち
政策	050201	道路網の整備と公共交通の利便性の向上
施策		道路網の整備
関連施策		

会計	一般会計	
款	8	土木費
項	2	道路橋りょう費
目	1.2.4.6	
事業コード	020100	

事業類型	3	施設維持管理(補修)事業(義務)
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	市道利用者		
意図 対象をどのような状態にしたいか	市道を適切に維持管理し、安全で安心な道路交通環境を確保する。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	市道889路線、総延長539Kmの維持・管理を行う為、側溝・路面の修繕・補修、街路管理業務・雑草刈り取りや、市道区域内の私有地測量・分筆を委託で行い、専門嘱託員2名をおいて道路のパトロールや分筆された土地の所有権移転登記を行っている。		
事業期間	年度 ~ 平成	年度	実施方法 直営
根拠法令、要綱等	道路法		
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 側溝・路面の修繕補修件数	計画値	200	200	200	200	
		実績値	252	265	281		
	達成度	%	126.0%	132.5%	140.5%		
	② 街路樹管理業務委託延長	計画値	18	18	18	18	
実績値		18	18	18			
達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%			
成果指標	① 苦情件数 市道を適切に維持管理することで、苦情件数が減少する。	計画値	350	315	315	315	
		実績値	307	324	320		
	達成度	%	114.0%	97.2%	98.4%		
	②	計画値					
実績値							
達成度	%						

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	169,225	202,723	182,435	143,295	141,560	0	0	0
国庫支出金	22,000	0	0	0	0			
県支出金	0	0	0	0	0			
地方債	16,200	0	0	0	0			
その他	12,856	13,126	10,774	10,201	10,246			
一般財源	118,169	189,597	171,661	133,094	131,314			
② 人件費(千円)	31,868	31,142	26,382	28,723	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	3.78	3.72	3.29	3.54	市道889路線の維持管理、未登記市道の一部	市道889路線の維持管理、未登記市道の一部	市道889路線の維持管理、未登記市道の一部	
時間外勤務(時間)	914	1515	1,589	1,490				
嘱託等人数(人)			0.00	0.00				
フルコスト(①+②千円)	201,093	233,865	208,817	172,018	解消	解消	解消	

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	市民からの要望が強い側溝改修や舗装補修を実施し進めている。
事業が抱える問題・課題等	舗装等の道路施設において、経年による劣化が進行しており、再整備には多額の事業費を要する。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
有効性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	
市道雑草刈取りに、地元委託の活用が可能							
地元委託契約単価の、見直しの余地なし							

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	市道施設は経年による劣化が進行しつつあり、安全で安心な道路交通環境を維持するため現状維持とする。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。